





本協会主催～第4回施工体験発表会より～

変電室内  
低圧幹線

## CV-Fケーブルの施工



日大情報研究棟(南面)

## ▶工事種別◀

- (1)受変電設備  
受電所内総受電盤及び饋電盤  
交換(契約1,300kWに増設)
- (2)2次変電設備  
情報棟内に設備容量1,150 kVAの変電室新設及び外構工事一式
- (3)幹線設備  
各階電灯盤、動力盤、電算盤  
までの主幹配線一式
- (4)動力設備  
熱源、冷房、換気設備への電源供給一式
- (5)電灯設備  
照明器具を計る3,000灯新設
- (6)コンセント設備  
各室、コンセント配管、配線設備一式
- (7)電話配管、配線設備  
各研究室及び教科センターへの電話用配管、配線設備一式
- (8)放送設備  
消防法に定める非常放送設備及び集中講義システム一式
- (9)テレビ共同聴視設備VHF12 L+UHF20Lアンテナ、ユニットの新設及びビル陰共聴対策一式
- (10)自動火災報知設備  
消防法に定める自動火災報知設備一式
- (11)防排煙制御装置設備  
防火シャッター制御用設備一式
- (12)避雷針設備  
黄銅製9m避雷針一基新設
- (13)昇降機設備  
105m/m in 11名乗用エレベーター3基新設

それは、発表のテーマであります変電室内低圧幹線CV-Fケーブルの施工について説明致します。使用的材量は、日立リフレンス・フラットケーブルです。このCV-Fケーブルの一般的な使用用途としては、以前から中高層集合住宅のブレーバ分岐付ケーブルとしてマンションなどで使われております。

通常変電室内変圧器一次側と低圧配電盤とを接続する低圧幹線は、銅帯IV又

は単線CVケーブルが一般的ですが、当工事ではCV-Fケーブルが設計に盛り込まれております。この背景には、各相のケーブルを三相密着して配線できるので銅帯施工のように離隔が不要であり、これによって狭い配線スペースを有効に使用できる。バスダクトの持つ低インピーダンス性とケーブルの可とう性、長尺ダンスが小さいため、ビル用低圧幹線、電子計算機電

受注生産品のため  
細心の注意が必要

源用幹線として適している  
などの利点があります。  
施工計画並びに施工の準備としては、またこのケーブルの品質、形状、施工性

今後、施工等に改良が加えられるならば多くの現場で使用されるものと思います。



CV-Fケーブルトランス立上げ部分

社会のニーズに応え  
省エネに貢献する



## 各種トランスの 愛知電機 高圧スイッチの大垣電機

(発売元)  
**愛知電機商事(株)** 仙台営業所  
仙台市青葉区宮町1丁目1-20  
TEL 022-221-5576

## 三菱照明器具・換気扇

三菱電機販売会社  
**東北三菱電機商品販売株式会社**

福島支店 TEL (0245)34-7121  
郡山支店 TEL (0249)59-6060  
いわき営業所 TEL (0246)26-0211  
原町営業所 TEL (0244)22-8821  
会津営業所 TEL (0242)27-4425

講評 県土木部常陸課長補佐  
秋吉政則

## フル容量で、フルラインアップ

## クリーンUPS

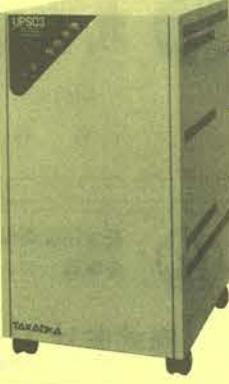
●クリーンUPS 3kV

## ■低損失形変圧器

## ■課電表示器

■受変電設備、システム製品、  
水処理その他の環境設備

TAKAOKA



コンピュータシステムのニーズに応える  
**株式会社 高岳製作所**  
福島営業所 TEL 0249(33)7709  
〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

時代が熱い注目。  
**HIDライティング。**

道路、スポーツ、工場はもとより、  
ビル、大規模施設、ショップ照明にいたるまで。  
そのパワーと、その多彩さに、いまそのニーズは高まっています。  
とくに、アイマルチハイエースは演色性に優れ、  
文化・商業施設に幅広く利用されています。

●アイマルチハイエース ●アイスペシャルクス  
●アイクリーンエース ●アイサンクルクスエース

光の総合メーカー  
**EYE 岩崎電氣**

本社/〒105 東京都港区芝3-12-4  
☎03(452)5351(代)  
郡山営業所/〒963 郡山市菜根1-21-17  
☎0249(33)5308(代)

福島県電気工事株  
工事部主任 根本洋吉

私たちの会社が昨年施工いたしました郡山市の日本大学工学部情報関係研究棟の新築工事で行った変電室のトランスと低圧配電線を接続した低圧幹線ケーブル(CV-Fケーブル)について説明いたします。この施設は、郡山市田村町徳定中河原地内で、SR C造八階建(PH2F)、建築の面積は六、一二〇た。

・三平方がで、教授ごとのコンピューターが入っている電算機室、電算機教育関係室、大教室などのほか、レストランも入っています。工期は昭和六十一年十一月十日から六十三年の四月末までの十八ヶ月で、設計は日大工学部工学研究所、監理は日大本部常陸課でし

